

< 優秀作品・小学生の部 >

藤井寺小学校 6年3組 廣田 さつき

『挑戦したいこと』

小学五年生の夏、私は家族で祖父のお見まいに行きました。祖父はがんにかかっている助かるかどうか分からない状況でした。そのとき、私は、祖父が助からないかもしれないことを聞き、泣いていました。しかし、病院の人達が精一ぱい祖父のためにちりょうしている姿を見ました。祖父は手術のおかげで助かることができました。そのとき、私は祖父を助けてくれた病院の人達にとっても感謝しました。

このことから、私は将来人や動物を助ける仕事をしたいと考えています。もし、誰も祖父の病気をちりょうしなければ、祖父は助からなかったと思います。これから、私は人や動物を助ける仕事につくために、日々勉強してその夢をかなえたいです。

藤井寺南小学校 6年1組 松井 彩葉

『笑顔の魔法』

私の将来の夢は、医療に携わる仕事をすることです。理由は小さい頃、病院に行ったときに診察室に入るとき涙目だった子供が笑顔で診察室から出てきたときに、魔法みたいだと思って、感動したからです。

両親も医療に携わる仕事をしていて、勉強も大切とアドバイスしてもらい、週3回塾に行き始めました。医療に携わる仕事をしたいと、勉強を頑張りだしてから一気に成績もよくなって担任の先生にすごいね、と言ってもらえてうれしかったです。また、医者や看護師、理学療法士など、医療に携わる仕事はありますが、私はまだどのような仕事に就きたいかわからないので仕事の種類を調べていきたいとおもいます。

今はまだその仕事に就けないけども、同級生や下級生が怪我をしていたら助ける、そんな当たり前のことをもっとうとしていきたいです。早く大人になって数えきれない人たちを笑顔にしていきたいです。

藤井寺西小学校 6年3組 内本 千彩

『料理』

私が日常生活で挑戦したいことは、料理である。料理に挑戦しようと思ったのは家庭科の調理実習がきっかけだ。その時には小松菜のおひたしと人参などの野菜をゆでたものを作った。調理実習をする前は具材を切ったり、ゆでたりし、それに加えて食器に料理を盛りつけ、使った食器を洗ってと、とても大変な工程ばかりが思いついた。しかし、結果はそうではなかった。何をするにしても楽しかった。中でも一番感動したのは自分たちで作った料理を食べた時だ。料理の味は努力を裏切ることなく、とてもおいしくて感動した。最後はもう一度この感動を味わいたいと思うほどで、初めに思っていたことは感動ですべてかき消されているほどだった。

このようなことから私は、他の人たちにもこの感動を味わってほしいので、今後料理に挑戦しようと思った。